公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	心身障がい福祉センター分園すてっぷ長浜		
○保護者評価実施期間	令和７年１２月　１日	～	令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）　68		（回答者数）　61
○従業者評価実施期間	令和７年　１２月　１日	～	令和７年１２月　１４日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）　4		（回答者数）　4
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　１月　２０日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心身障がい福祉センターの分園であること。	・対象があいあいセンターを経由して入園してくることから、児の情報は把握しやすい。こまめに心身障がい福祉センターと連絡をとり情報共有やリスクマネージメントを行っている。	・あいあいセンターの多職種（PT、ST、OT)からのOJT実施や相談や助言があると支援に厚みが生まれ、職員の育成にも役立つと思われる。
2	部屋がないので、ゆうゆうセンターの部屋を借りている。	・ゆうゆうセンターの展示室を見学する機会を持ち保護者に情報提供している。 ・ゆうゆうセンター等の研修に職員が参加し、児に対して理解を深めている。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	トイレが狭く、個室がひとつしかないこと。	・園の中で排泄指導をしているが、複数人が指導できないため支援に支障が出ている。	・トイレの改修工事が必要である。
2	収納場所がない。	・感覚統合的な遊びをさせたいが、あいあいセンターからの借り物が多い。収納場所があれば遊具をいつでも出して子どもたちに提供できると考える。	・最大限に工夫しているので、今の場所では難しいと考える。
3			